

川崎緑化フェア 来場者数94万人

計測方法に指摘も

10～11月に川崎市内の3会場を中心に開催された「全国都市緑化かわさきフェア」の来場者数について、市は5日、計約94万人とする速報値を公表した。同日の市議会で、自民党の矢沢孝雄議員の代表質問に答えた。

フェアは秋と春の2期間催で、秋は10月19日～11月17日の30日間にわたり、富士見公園、等々力緑地、生田緑地を中心に行われた。春は来年3～4月に予定されている。

市によると、来場者は想定よりもファミリー層が多かったといい、春開催に向

け、市立の全小中学校、特別支援学校による花苗育成を続けていくという。福田紀彦市長は「都市の中のみどりの可能性を発信し、多くの皆様に体感していただいたことは非常に有意義だった」と答弁した。

一方、雨笠裕治議員はみらいの代表質問で、来場者数の計測方法について尋ねた。市によると、期間中の3会場の来場者数のほか、11月3日に富士見公園近くの路上などで行われた「みんなの川崎祭」の来場者数（約11万人）なども含んだ数値だという。雨笠議員は「フェア開催中の会場周辺の状況と温度差がある」と指摘。春開催に向け、計測方法を再検討するよう求めた。読売6.12.6